

研究開発の段階から考える 後発で勝つための知財戦略セミナー

～ 技術をビジネスに活かすために研究開発担当が持つべき知財の視野とは？ ～

開催日時 **2025年 6月18日(水)** **オンライン** 13:30～17:00

定員 **30名** (定員になり次第締め切らせていただきます。)

対象 後発型のビジネスに関連する企業・組織の担当者や関係者を対象にしています

- 知的財産部門ならびに研究・開発部門のスタッフ・技術者・管理者の方々

参加料(税込) 法人会員： **27,500円/1名**
会員外： **33,000円/1名**

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。

講師 **加藤 実氏**

加藤弁理士事務所 代表 弁理士

1991年～ 味の素から特許事務所に転職。
国内外の特許出願・権利化・異議申立・無効審判・審決取消訴訟・侵害訴訟等を担当。以降、一貫して知財実務に従事。

1995年～ 弁理士登録(2005 特定侵害訴訟代理業務付登録)

2000年～ 花王の知財部門に転職。
企業マネジメントの立場から知財戦略の策定と遂行、知財権の管理・活用を主導。知財センター長、知財主幹等を歴任。

2019年～ 加藤弁理士事務所を開業。
中小企業、個人などの多様な知財ニーズに対応。講演・執筆実績多数。

■ 本テーマ関連学会での活動
知的財産研究教育財団 上席研究員(非常勤)
国際知的財産保護協会(AIPI) 本部常設委員会メンバー

開催趣旨

技術を活かして後発でのビジネスを成功させるには、自社特有の強み・弱みに応じた最適な知財戦略を策定し、事業戦略・研究開発戦略に組み込むことが非常に重要です。知財戦略を現場で機能させるには研究開発部門の積極的な関わりが不可欠であり、研究開発の初期段階から戦略的な視点を持った取り組みが望まれます。

本セミナーでは、企業での知財マネジメントに精通する講師が「後発で勝つ」ために抑えておくべき知財戦略の考え方とポイントを、演習や具体例を交えて、分かりやすく解説します。

■ プログラム		13:30～17:00
1 知財戦略の基本 ―知財による事業貢献―	5 後発の強みを築く自社特許確保と活用	
<ul style="list-style-type: none"> 事業における知財の役割 特許の性質による分類 価値ある特許とは 特許網の重要性 知財ミックス戦略 	<ul style="list-style-type: none"> 後発に適した特許網とは 発明の発掘が必要な理由 権利化段階の工夫 権利活用の考え方 販促ツールとしての特許 	
2 事業戦略・研究開発戦略との相関	6 後発の弱みを除く他社特許対応	
<ul style="list-style-type: none"> 知財戦略における三位一体の意味 事業・研究開発担当に必要な知財知識 	<ul style="list-style-type: none"> 他社特許の分析手法 障害度に応じた対処 他社の公開特許の扱い方 	
3 後発の立ち位置と知財戦略	7 後発にとっての知財契約の要点	
<ul style="list-style-type: none"> 後発参入の類型 知財面でのメリットとデメリット 中長期の戦略策定 	<ul style="list-style-type: none"> 知財契約の類型 留意すべき条項と管理 	
4 後発にとっての知財情報分析	8 社内外の連携とコミュニケーション	
<ul style="list-style-type: none"> 業界の知財状況と開発動向の把握 他社の特許網の把握 他社の障害特許の把握 特許情報を活かした研究開発 		

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

